

PART 1で述べたように、英語の段落 (paragraph) は、「主題文」 (topic sentence) とそれを支える「補助文」 (supporting sentence) との関係によって、いくつかのタイプに分類されます。そのタイプをあらかじめ頭に入れておけば、筋の展開を把握する (= 効率的に読む) 上で大きな力になるでしょう。

段落のタイプを分類する方法はいくつかあります。別に難しく考える必要はなく、文章は人間によって書かれるものですから、それがどういった段落のタイプであるのかを把握するには、人が何をするのか、その意図は何なのか、いつ話したり書いたりするのかなどについて考えればよいのです。

ここでは8つのタイプに段落を分類して学びます。その前に、段落のタイプを決定するさいの手がかりとして、次の事項を念頭に入れておきましょう。

- ① 主題文を見つけること。それがヒントを与えてくれる。
- ② 案内標識に着目すること。(これは第3章でさらに詳しく学びます)
- ③ 補助文すべてに共通する考え・見解を見つけること。

さらに、補助文が主題文とどのように関わっているかを考えてみることです。

[1] 主題 → 議論 ▶▶▶ 一般的な段落

これは英文の段落としては、非常に一般的なタイプです。筆者はあるものを「主題」として紹介し、それについて「議論」 (= 詳細に論じること) したいと言います。そして、いくつかの要点を述べます。このタイプの段落は、長文の序論 (導入) 的な段落となることがあります。

1) I wish to discuss Brazilian-Japanese relations over the past hundred years or so. The fact that you will probably think about first is that there are many people of Japanese descent (so-called “nikkei”) who live in Brazil today. In fact, these people have had a very important influence on the economy, politics, and culture of Brazil.

最初の文が主題文で、その中で筆者は「ブラジルと日本の関係」という「主題」を「議論」したい (I wish to discuss ...) とはっきり述べています。そのあとの文は「補助文」で、その議論のために提示されている事実です。次の段落以降で (ここには示されてはいませんが)、議論が展開されることが当然予想されます。

Notes descent 「家系、血統」 have an influence on 「～に影響を与える」

文意 私はここ100年あまりにわたるブラジルと日本の関係について論じた。あなたがおそらく最初に考える事実は今日ブラジルに住んでいる日本人の子孫 (いわゆる「日系」) がたくさんいるということであろう。実際、こうした人々はブラジルの経済、政裕、そして文化に非常に重要な影響力をもっているのである。

[2] 物語 ▶▶▶ 経験に基づいて語る

ある期間にわたる「経験」に基づいた話を語る段落のタイプを「物語」と呼びます。これは筆者が時を回顧し、自分に起こったこと、あるいはもっと広い意味でいえば、自分にとって人生とはどのようなものであったかを述べるが含まれています。

2) I always think of my childhood as being an ordinary one for a middle class Californian. We used to spend a lot of time at the beach, swimming and surfing. My family always had two or three cars and I could drive even before I got my license. There always seemed to be some new sport or game. For example, when I was about ten or eleven years old, skateboarding started to become popular.

この段落においても、主題文は冒頭に位置しています。そのあとの文は筆者の「経験」を回想している「物語」です。used to ... という表現から、特にそれが顕著になります。最初の文だけが現在形で、それ以外の文はすべて過去形で書かれていることも着眼点になります。

Notes think of A as B 「AをBと考える」 used to do 「昔は～したものだ」 spend A -ing 「～してA (時間) を過ごす」